



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月14日

上場会社名 株式会社テセック 上場取引所 東  
 コード番号 6337 URL http://www.tesec.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 賢治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 尾亦 利夫 TEL 042-566-1111  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月10日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	7,194	22.6	1,214	34.2	1,373	54.3	1,047	2.3
2018年3月期	5,869	43.3	904	322.7	890	193.4	1,023	291.1

(注) 包括利益 2019年3月期 980百万円 (△11.3%) 2018年3月期 1,105百万円 (641.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	185.47	—	10.6	12.6	16.9
2018年3月期	181.23	—	11.4	8.9	15.4

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 -百万円 2018年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	11,159	10,221	91.6	1,809.38
2018年3月期	10,669	9,466	88.7	1,675.71

(参考) 自己資本 2019年3月期 10,220百万円 2018年3月期 9,464百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	981	33	△248	2,556
2018年3月期	△474	△53	△136	1,743

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	225	22.1	2.5
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	282	27.0	2.9
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		45.2	

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 創立50周年記念配当 10円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△19.4	600	△50.6	620	△54.9	500	△52.3	88.52

(注) 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っていません。

## ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2019年3月期	5,778,695株	2018年3月期	5,778,695株
2019年3月期	130,348株	2018年3月期	130,348株
2019年3月期	5,648,347株	2018年3月期	5,648,372株

## (参考) 個別業績の概要

2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	6,772	19.6	928	6.2	1,132	15.5	920	△14.7
2018年3月期	5,663	44.6	873	473.6	980	232.6	1,078	318.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	162.95	—
2018年3月期	191.02	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2019年3月期	10,439		9,558		91.6	1,692.29		
2018年3月期	10,032		8,912		88.8	1,577.84		

(参考) 自己資本 2019年3月期 9,558百万円 2018年3月期 8,912百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	2
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 連結貸借対照表 .....	3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	5
連結損益計算書 .....	5
連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(表示方法の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	13
(1) 受注及び販売の状況 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する分析

#### ①当期の経営成績

当連結会計年度における世界経済は、米国では大型減税などにより景気拡大が維持されましたが、欧州では英国のEU離脱問題や政治不安とともに景気減速懸念が強まりました。中国では減速が鮮明となる一方で景気対策による持ち直しも意識され、日本では雇用環境や企業収益が改善するなど、全体として回復基調で推移しましたが、貿易摩擦や債務拡大への懸念などから、先行き不透明な状況が続きました。

半導体業界におきましては、データセンター向けメモリ需要の増加、産業機械の省エネ化や自動車の電動化に伴うパワーデバイスの需要拡大など、半導体需要の裾野が広がるなか、2018年の半導体製造装置の市場規模は2年連続で史上最高を更新しましたが、秋口以降、メモリの過剰供給に伴う価格下落や世界景気の不透明感などを背景に、大手半導体メーカーの設備投資判断に慎重な姿勢が強まりました。

このような状況のなか、国内、台湾、中国をはじめとするアジアなどの主要市場において、戦略モデルと位置付ける車載向けパワーデバイス用テストおよびハンドラを中心に積極的な受注活動を展開しました。また、計画生産や外注化により納期短縮を促進するとともに、顧客ニーズに応える次世代製品の開発に注力しました。

以上の結果、受注高は57億79百万円（前期比20.9%減）、売上高は71億94百万円（同22.6%増）となりました。製品別売上高はハンドラ40億8百万円（同49.4%増）、テスト22億56百万円（同15.8%増）、パーツ等9億29百万円（同24.9%減）となりました。

損益面は、売上増に伴う売上総利益の増加により、営業利益は12億14百万円（前期比34.2%増）となりました。為替差益の発生により、経常利益は13億73百万円（同54.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10億47百万円（同2.3%増）となりました。

#### ②次期の見通し

世界経済の先行き不透明感が高まるなか、半導体製造設備への投資抑制が続いていますが、データセンター投資の再開、次世代通信規格（5G）の始動、自動車の電動化進展などを背景に、今後も半導体需要の拡大が予想されることから、半導体製造装置市場は、短期的には変動しつつも中長期的には堅調に推移するものと見込まれます。

2020年3月期の連結業績につきましては、年央での受注回復を見込み、売上高58億円（当期比19.4%減）、営業利益6億円（同50.6%減）、経常利益6億20百万円（同54.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益5億円（同52.3%減）を予想しております。

2020年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、現在の経営環境や今後の業績見通しに加え、当社は12月に創立50周年を迎えることを勘案し、記念配当10円を含む40円を予想しております。

### (2) 財政状態に関する分析

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、売上の増加および売上債権の回収に伴い現預金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ4億90百万円増加し、111億59百万円となりました。

負債は、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ2億64百万円減少し、9億38百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などから、前連結会計年度末に比べ7億55百万円増加し、102億21百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、下記の各キャッシュ・フローによる増減により、前連結会計年度末に比べ8億12百万円増加し、25億56百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億81百万円のプラス（前期は4億74百万円のマイナス）となりました。これは主に、売上債権の減少によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、33百万円のプラス（同53百万円のマイナス）となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億48百万円のマイナス（同1億36百万円のマイナス）となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、IFRSの適用につきましては、今後の諸情勢を踏まえ、適切に対応する方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,962	2,727
受取手形及び売掛金	2,348	2,119
有価証券	105	197
製品	134	155
仕掛品	1,500	1,390
原材料	324	597
未収消費税等	157	162
その他	43	51
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	6,575	7,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,534	2,525
減価償却累計額	△2,130	△2,147
建物及び構築物 (純額)	404	378
機械装置及び運搬具	126	113
減価償却累計額	△123	△106
機械装置及び運搬具 (純額)	2	7
工具、器具及び備品	765	778
減価償却累計額	△729	△736
工具、器具及び備品 (純額)	35	42
土地	1,167	1,167
リース資産	13	13
減価償却累計額	△10	△12
リース資産 (純額)	3	1
有形固定資産合計	1,614	1,597
無形固定資産		
リース資産	18	7
その他	14	11
無形固定資産合計	32	19
投資その他の資産		
投資有価証券	2,087	1,887
退職給付に係る資産	1	2
繰延税金資産	221	91
保険積立金	126	153
その他	16	16
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,447	2,143
固定資産合計	4,094	3,761
資産合計	10,669	11,159

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	355	220
リース債務	26	19
未払金	141	135
未払費用	133	135
未払法人税等	146	102
賞与引当金	176	153
製品保証引当金	34	22
その他	164	146
流動負債合計	1,179	934
固定負債		
リース債務	19	—
繰延税金負債	4	2
長期未払金	1	1
固定負債合計	24	3
負債合計	1,203	938
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,521	2,521
資本剰余金	3,370	3,370
利益剰余金	3,544	4,366
自己株式	△202	△202
株主資本合計	9,234	10,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382	334
為替換算調整勘定	△152	△171
その他の包括利益累計額合計	230	163
非支配株主持分	1	1
純資産合計	9,466	10,221
負債純資産合計	10,669	11,159

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	5,869	7,194
売上原価	3,544	4,261
売上総利益	2,324	2,933
販売費及び一般管理費		
販売手数料	136	244
荷造運搬費	42	52
役員報酬	117	134
給料手当及び賞与	430	441
法定福利費	64	65
賞与引当金繰入額	54	44
減価償却費	11	11
研究開発費	156	275
貸倒引当金繰入額	1	2
その他	406	447
販売費及び一般管理費合計	1,420	1,718
営業利益	904	1,214
営業外収益		
受取利息	28	43
受取配当金	27	35
為替差益	—	100
その他	6	9
営業外収益合計	62	189
営業外費用		
投資有価証券売却損	—	10
保険解約損	8	13
為替差損	62	—
支払手数料	2	3
その他	2	2
営業外費用合計	76	29
経常利益	890	1,373
特別利益		
固定資産売却益	4	—
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	—	2
ゴルフ会員権評価損	—	1
特別損失合計	—	4
税金等調整前当期純利益	894	1,370
法人税、住民税及び事業税	146	199
法人税等調整額	△275	123
法人税等合計	△129	322
当期純利益	1,023	1,047
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,023	1,047

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,023	1,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	△47
為替換算調整勘定	34	△18
その他の包括利益合計	82	△66
包括利益	1,105	980
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,105	980
非支配株主に係る包括利益	0	0



## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,521	3,370	2,634	△202	8,324
当期変動額					
剰余金の配当			△112		△112
親会社株主に帰属する当期純利益			1,023		1,023
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	910	△0	910
当期末残高	2,521	3,370	3,544	△202	9,234

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	334	△186	148	1	8,473
当期変動額					
剰余金の配当					△112
親会社株主に帰属する当期純利益					1,023
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	47	34	82	0	82
当期変動額合計	47	34	82	0	992
当期末残高	382	△152	230	1	9,466

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,521	3,370	3,544	△202	9,234
当期変動額					
剰余金の配当			△225		△225
親会社株主に帰属する当期純利益			1,047		1,047
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	821	－	821
当期末残高	2,521	3,370	4,366	△202	10,056

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	382	△152	230	1	9,466
当期変動額					
剰余金の配当					△225
親会社株主に帰属する当期純利益					1,047
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△47	△18	△66	△0	△66
当期変動額合計	△47	△18	△66	△0	755
当期末残高	334	△171	163	1	10,221

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	894	1,370
減価償却費	57	62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	2
受取利息及び受取配当金	△55	△79
為替差損益 (△は益)	15	△62
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	8
固定資産除売却損益 (△は益)	△3	2
ゴルフ会員権評価損	—	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△666	225
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,006	△186
仕入債務の増減額 (△は減少)	138	△133
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△119	△5
未収入金の増減額 (△は増加)	0	△0
未払費用の増減額 (△は減少)	28	1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	7	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△28	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1	△0
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2	△11
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	271	△37
小計	△471	1,144
利息及び配当金の受取額	56	79
法人税等の支払額	△59	△242
営業活動によるキャッシュ・フロー	△474	981
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4	△4
定期預金の払戻による収入	6	50
有価証券の売却及び償還による収入	—	96
投資有価証券の取得による支出	△279	△297
投資有価証券の売却及び償還による収入	242	259
有形固定資産の取得による支出	△31	△31
有形固定資産の売却による収入	5	2
無形固定資産の取得による支出	△7	△3
保険積立金の積立による支出	△40	△40
保険積立金の解約による収入	52	—
その他	2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	33
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△24	△24
自己株式の取得による支出	△0	—
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
配当金の支払額	△111	△223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136	△248
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△660	812
現金及び現金同等物の期首残高	2,404	1,743
現金及び現金同等物の期末残高	1,743	2,556

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が271百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が221百万円増加しております。また、「流動負債」の「繰延税金負債」が4百万円減少し、「固定負債」の「繰延税金負債」が45百万円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が49百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、半導体検査装置の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	ハンドラ	テスト	パーツ等	合計
外部顧客への売上高	2,682	1,948	1,237	5,869

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	台湾	中国	マレーシア	その他のアジア	北米	その他	合計
1,885	1,210	929	776	607	272	187	5,869

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

	ハンドラ	テスタ	パーツ等	合計
外部顧客への売上高	4,008	2,256	929	7,194

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

日本	台湾	中国	マレーシア	その他の アジア	北米	その他	合計
1,776	1,450	1,144	978	725	931	187	7,194

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
TEXAS INSTRUMENTS TAIWAN LIMITED	1,379	半導体検査装置

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,675.71円	1,809.38円
1株当たり当期純利益	181.23円	185.47円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,023	1,047
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,023	1,047
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,648	5,648

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 受注及び販売の状況

## ① 受注実績

当連結会計年度の受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高	対前期増減率 (%)	受注残高	対前期増減率 (%)
ハンドラ (百万円)	2,933	△27.2	657	△62.0
テスト (百万円)	1,942	△6.4	491	△39.0
パーツ等 (百万円)	902	△24.8	134	△16.4
合計 (百万円)	5,779	△20.9	1,283	△52.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 販売実績

当連結会計年度の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	対前期増減率 (%)
ハンドラ (百万円)	4,008	49.4
テスト (百万円)	2,256	15.8
パーツ等 (百万円)	929	△24.9
合計 (百万円)	7,194	22.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。